

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第3868728号

(P3868728)

(45) 発行日 平成19年1月17日(2007. 1. 17)

(24) 登録日 平成18年10月20日(2006. 10. 20)

(51) Int. Cl.

B 4 2 D 11/00 (2006. 01)

F I

B 4 2 D 11/00

E

B 4 2 D 11/00

H

B 4 2 D 11/00

P

請求項の数 4 (全 7 頁)

(21) 出願番号	特願2000-249053 (P2000-249053)	(73) 特許権者	000110217
(22) 出願日	平成12年7月14日(2000. 7. 14)		トッパン・フォームズ株式会社
(65) 公開番号	特開2002-29179 (P2002-29179A)		東京都港区東新橋一丁目7番3号
(43) 公開日	平成14年1月29日(2002. 1. 29)	(74) 代理人	100106909
審査請求日	平成16年2月27日(2004. 2. 27)		弁理士 棚井 澄雄
		(74) 代理人	100064908
			弁理士 志賀 正武
		(74) 代理人	100117525
			弁理士 坂野 史子
		(72) 発明者	重見 一臣
			東京都福生市熊川1296-1-303
		(72) 発明者	樋渡 丈
			埼玉県鶴ヶ島市上広谷45-2-201
		審査官	小野 忠悦
			最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 配送伝票

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

伝票基材の裏面に補助基材を剥離可能に接着し、前記補助基材の裏面に粘着剤を塗布するとともに剥離紙で被覆してなる貼付票と受領証兼配達票を有する配送伝票において、配送伝票の適所に、前記伝票基材から前記剥離紙面に達するスリットで保証ラベル部を分離可能に区画形成し、前記スリットの外側に対応位置して切り込みを前記伝票基材から前記剥離紙面に達するよう設けて、前記切り込みと前記スリットに挟まれた部分でラベル周辺剥離部を形成し、

前記切り込みに沿って前記伝票基材を捲り上げると、前記保証ラベル部を前記剥離紙の一部とともに分離可能なように、前記剥離紙には、前記保証ラベル部を含むように、前記保証ラベル部と前記切り込みとの間に位置させて、前記剥離紙から少なくとも前記補助基材面に達するスリットを設けてラベル保護部を形成したことを特徴とする配送伝票。

【請求項2】

伝票基材の裏面に補助基材を剥離可能に接着し、前記補助基材の裏面に粘着剤を塗布するとともに剥離紙で被覆してなる貼付票と受領証兼配達票を有する配送伝票において、配送伝票の前記伝票基材の適所に、スリットで保証ラベル部を分離可能に区画形成し、前記スリットの外側に対応位置して切り込みを前記伝票基材から前記剥離紙面に達するよう設けて、前記切り込みと前記スリットに挟まれた部分でラベル周辺剥離部を形成し、前記切り込みに沿って前記伝票基材を捲り上げると、前記保証ラベル部を前記剥離紙の一部とともに分離可能なように、前記剥離紙には、前記保証ラベル部を含むように、前記保

10

20

証ラベル部と前記切り込みとの間に位置させて、前記剥離紙から少なくとも前記補助基材面に達するスリットを設けてラベル保護部を形成したことを特徴とする配送伝票。

【請求項 3】

伝票基材の裏面に補助基材を剥離可能に接着し、前記補助基材の裏面に粘着剤を塗布するとともに剥離紙で被覆してなる貼付票と受領証兼配達票を有する配送伝票において、配送伝票の前記伝票基材の適所に保証ラベル部を分離可能に区画形成し、前記保証ラベル部の外側に対応位置してラベル周辺剥離部を形成し、
前記伝票基材を捲り上げると、前記保証ラベル部を前記剥離紙の一部とともに分離可能なように、前記剥離紙には、前記保証ラベル部を含むように、前記ラベル周辺剥離部に位置
させて、前記剥離紙から少なくとも前記補助基材面に達するスリットを設けてラベル保護
部を形成したことを特徴とする配送伝票。

10

【請求項 4】

前記伝票基材と前記補助基材との重ね合わせ面に接着力弱化部分を設けて前記ラベル周辺剥離部の剥離開始端としていることを特徴とする請求項 1～3 のいずれかに記載の配送伝票。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、伝票基材の裏面に補助基材を剥離可能に接着し、前記補助基材の裏面に粘着剤を塗布するとともに剥離紙で被覆してなる貼付票と受領証兼配達票を有する配送伝票に関し、特に、保証書を収納した梱包材に貼付して使用するのに適した配送伝票に関する。

20

【0002】

【従来の技術】

従来の保証書を収納した梱包材に貼付して使用する配送伝票は、保証書との関連はなんら考慮されておらず、配送作業に必要な貼付票などの伝票を備えているに過ぎない。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

したがって、従来においては、梱包材から保証書を取り出して、販売店名、販売日などの必要事項を記入したうえ、再度、保証書を梱包材内に収納している。このため、保証書の取り扱いが煩雑で、作業効率が劣るという不都合があった。本発明は、この不都合を解消した配送伝票を提供することを目的とする。

30

【0004】

【課題を解決するための手段】

この目的を達成するために、請求項 1 に記載の本発明の配送伝票は、伝票基材の裏面に補助基材を剥離可能に接着し、前記補助基材の裏面に粘着剤を塗布するとともに剥離紙で被覆してなる貼付票と受領証兼配達票を有する配送伝票において、
配送伝票の適所に、前記伝票基材から前記剥離紙面に達するスリットで保証ラベル部を分離可能に区画形成し、前記スリットの外側に対応位置して切り込みを前記伝票基材から前記剥離紙面に達するよう設けて、前記切り込みと前記スリットに挟まれた部分でラベル周辺剥離部を形成し、

40

前記切り込みに沿って前記伝票基材を捲り上げると、前記保証ラベル部を前記剥離紙の一部とともに分離可能なように、前記剥離紙には、前記保証ラベル部を含むように、前記保証ラベル部と前記切り込みとの間に位置させて、前記剥離紙から少なくとも前記補助基材面に達するスリットを設けてラベル保護部を形成したものである。

請求項 2 に記載の本発明の配送伝票は、伝票基材の裏面に補助基材を剥離可能に接着し、前記補助基材の裏面に粘着剤を塗布するとともに剥離紙で被覆してなる貼付票と受領証兼配達票を有する配送伝票において、

配送伝票の前記伝票基材の適所に、スリットで保証ラベル部を分離可能に区画形成し、前記スリットの外側に対応位置して切り込みを前記伝票基材から前記剥離紙面に達するよう設けて、前記切り込みと前記スリットに挟まれた部分でラベル周辺剥離部を形成し、

50

前記切り込みに沿って前記伝票基材を捲り上げると、前記保証ラベル部を前記剥離紙の一部とともに分離可能なように、前記剥離紙には、前記保証ラベル部を含むように、前記保証ラベル部と前記切り込みとの間に位置させて、前記剥離紙から少なくとも前記補助基材面に達するスリットを設けてラベル保護部を形成したものである。

請求項 3 に記載の本発明の配送伝票は、伝票基材の裏面に補助基材を剥離可能に接着し、前記補助基材の裏面に粘着剤を塗布するとともに剥離紙で被覆してなる貼付票と受領証兼配達票を有する配送伝票において、

配送伝票の前記伝票基材の適所に保証ラベル部を分離可能に区画形成し、前記保証ラベル部の外側に対応位置してラベル周辺剥離部を形成し、

前記伝票基材を捲り上げると、前記保証ラベル部を前記剥離紙の一部とともに分離可能なように、前記剥離紙には、前記保証ラベル部を含むように、前記ラベル周辺剥離部に位置させて、前記剥離紙から少なくとも前記補助基材面に達するスリットを設けてラベル保護部を形成したものである。

10

請求項 4 に記載の本発明の配送伝票は、前記伝票基材と前記補助基材との重ね合わせ面に接着力弱化部分を設けて前記ラベル周辺剥離部の剥離開始端としている。

【0005】

【発明の実施の形態】

以下、添付図面に基づいて本発明の好適な実施形態を説明する。ここにおいて、図 1 は配送伝票の平面図、図 2 はその背面図、図 3 は図 1 の A-A 線断面図、図 4 は同じく図 1 の B-B 線断面図、図 5 は配送伝票を梱包材に接着した状態を示す断面図、図 6 は保証ラベル部の剥離状態を示す斜視図、図 7 は保証書に保証ラベル部を貼着した状態を示す平面図である。

20

【0006】

図 1～図 4 に示すように、配送伝票 1 は、伝票基材 2 の裏面に剥離可能な感圧性接着剤 3 により補助基材 4 を互いに剥離可能に設け、さらにこの補助基材 4 の裏面に、粘着剤 5 を塗布して、これを剥離紙 6 で被覆している。前記配送伝票 1 は、伝票基材 2 にスリット 7 を設けて、受領証兼配達票 8 と貼付票 9 とを区画形成している。また、前記貼付票 9 の下端に接続して、区画線 10 で区画した保証シール 11 を設けている。

【0007】

図 1 に示すように、受領証兼配達票 8 の表面には、「配達票」なる標題 12 のほか、届け先記入欄 13、依頼主記入欄 14、品名記入欄 15、着店コード記入欄 16、個口数記入欄 17、受領印捺印欄 18 を設けている。また、貼付票 9 の表面には、「貼付票」なる標題 19 のほか、届け先記入欄 20、依頼主記入欄 21、受付年月日記入欄 22、個口数記入欄 23、取り扱い会社表示 24 を設けている。

30

【0008】

さらに、図 1、図 3 及び図 4 に示すように、保証シール 11 には、その表面に「保証シール」という標題 25 を設け、伝票基材 2 と補助基材 4 を貫通して剥離紙 6 面にまで達するスリット 26 で保証ラベル部 27 を分離可能に区画形成している。この保証ラベル部 27 の表面には、商品販売会社名 28 をあらかじめ印刷する一方、空白部分には追って保証書発行日、すなわち商品販売日を印字するものである。

40

【0009】

そして、スリット 26 の外側に対応位置して、配送伝票 1 の一端から延びるコ字状で、カット部が長くタイ部が短いミシン目状の切り込み 29 を、前記伝票基材 2 から前記剥離紙 6 面に達するよう設けている。この切り込み 29 と前記スリット 26 に挟まれた部分で、ラベル周辺剥離部 30 を形成する。なお、図示していないが、保証シール 11 には、表面の適所に、前記保証ラベル部 27 の使用方法を説明する説明文を印刷してある。

【0010】

また、図 2～図 4 に示すように、剥離紙 6 には、保証ラベル部 27 を含むように、一端側を除いて切り込み 29 の内側に位置するスリット 31 を設け、ラベル周辺剥離部 30 にその一端側を除いて内側に対応位置するラベル保護部 6a を形成している。伝票基材 2 と補

50

助基材 4 との重ね合わせ面における、前記ラベル保護部 6 a と前記ラベル周辺剥離部 3 0 との対応しない部分、すなわち、図 4 における右側のスリット 3 1 よりも右側の部分には、図示してはいないがベタ印刷を施して、剥離可能な感圧性接着剤 3 の接着力をさらに弱めている。したがって、このベタ印刷端から、切り込み 2 9 に沿って前記伝票基材 2 を補助基材 4 から捲り上げると、保証ラベル部 2 6 を前記ラベル周辺剥離部 3 0、前記ラベル保護部 6 a とともに分離可能である。

【0011】

続いて、上述した配送伝票 1 の使用方法を説明する。まず、受領証兼配達票 8 と貼付票 9 の各記入欄 1 3, 1 4, 1 5, 1 6, 1 7, 2 0, 2 1, 2 3 にそれぞれ所定事項を印字するとともに、保証ラベル部 2 7 の空白部分には保証発行日を印字する（図 6, 図 7 参照）。次に、剥離紙 6 をラベル保護部 6 a を除いて補助基材 4 から剥離し、図 5 に示すように、露出した粘着剤 5 で配送品（図示せず）と保証書 3 3（図 7 参照）を収納した梱包材 3 2 の適所に貼着する（図 6 参照）。

10

【0012】

この後、通常の配送作業に移るのであるが、受領証兼配達票 8 は配送作業の途上において、補助基材 4 から剥離して使用する。届け先記入欄 1 3, 2 0 に印字記入された届け先に配送品を配達する際には、前記受領証兼配達票 8 の受領印捺印欄 1 8 に受領印の捺印を受ける。一方、届け先では、図 6 に示すように、梱包材 3 2 に貼着した保証シール 1 1 から、切り込み 2 9 に沿って、配送伝票 1 の一端側からラベル周辺剥離部 3 0 に対応する伝票基材 2 を捲り上げ、保証ラベル部 2 7 を前記ラベル周辺剥離部 3 0 とともに分離する。

20

【0013】

この時、ラベル周辺剥離部 3 0 の剥離開始端にはベタ印刷により接着力弱化部分を設けているので、伝票基材 2 は補助基材 4 から容易に剥離し、剥離部分がスリット 3 1 に至ると、ラベル周辺剥離部 3 0 は保証ラベル部 2 7 とともに、裏面側にラベル保護部 6 a をともなって、保証シール 1 1 から分離するものである。

【0014】

そして、この分離したラベル周辺剥離部 3 0 からさらに、保証ラベル部 2 7 をスリット 2 6 に沿って捲り上げて、ラベル保護部 6 a から剥離し、図 7 に示すように、梱包材 3 2 内に収納されていた保証書 3 3 の販売店名欄 3 4 に、露出した裏面の粘着剤 5 によって貼着し、適正な保証書 3 3 としたうえ、この保証書 3 3 を保管するものである。

30

【0015】

なお、本発明は上述した実施形態に限定されるものではなく、例えば、保証ラベル部 2 7 に対応する伝票基材 2 と補助基材 4 は、剥離可能な感圧性接着剤 3 でなく、剥離困難な感圧性接着剤を用いて接着してもよい。また、ラベル周辺剥離部 3 0 は、配送伝票 1 の一側端からコ字状に延びる切り込み 2 9 によって形成したが、これを配送伝票 1 の一側端から距離をおいた位置で、四角形状に延びる切り込みで形成してもよい。

【0016】

【発明の効果】

以上説明したように、本願発明の配送伝票によれば、保証書に必要な販売店名、発行年月日を記入するために、配送作業の前段階あるいはその途上において、梱包材内に収納してある保証書を取り出したり、再度収納するという、煩雑な作業をすることがなく、簡便であるとともに、作業効率も向上するという効果に加えて、保証ラベル部の分離動作が容易であるという効果を奏する。

40

【図面の簡単な説明】

【図 1】第 1 の実施形態の配送伝票を示す平面図。

【図 2】同じく配送伝票の背面図。

【図 3】同じく図 1 の A-A 線断面図。

【図 4】同じく図 1 の B-B 線断面図。

【図 5】同じく配送伝票を梱包材に接着した状態を示す断面図。

【図 6】同じく保証書ラベル部の剥離状態を示す斜視図。

50

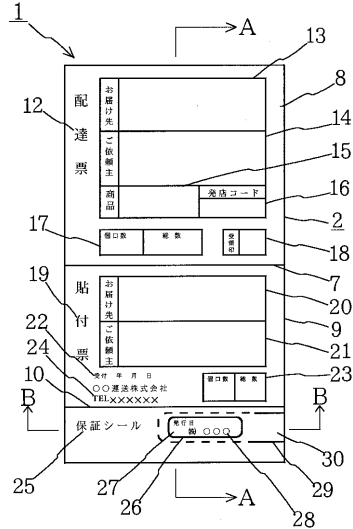
【図 7】 同じく保証書に保証書ラベル部を貼着した状態を示す斜視図。

【符号の説明】

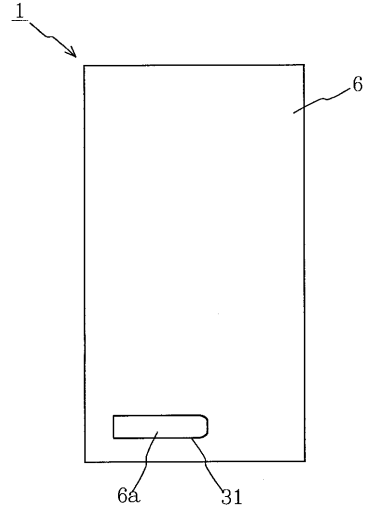
- 1 … 配送伝票
- 2 … 伝票基材
- 3 … 剥離可能な感圧性接着剤
- 4 … 補助基材
- 5 … 粘着剤
- 6 … 剥離紙
- 6 a … ラベル保護部
- 8 … 受領証兼配達票
- 9 … 貼付票
- 1 1 … 保証シール
- 2 6 … スリット
- 2 7 … 保証ラベル部
- 2 9 … 切り込み
- 3 0 … ラベル周辺剥離部
- 3 1 … スリット
- 3 3 … 保証書

10

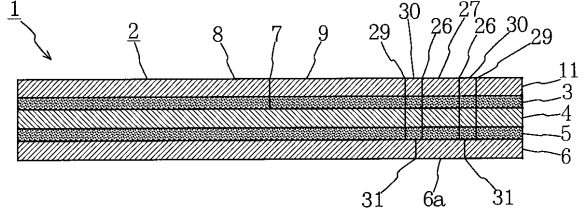
【図 1】



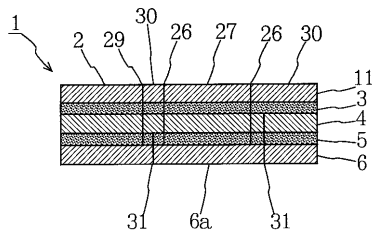
【図 2】



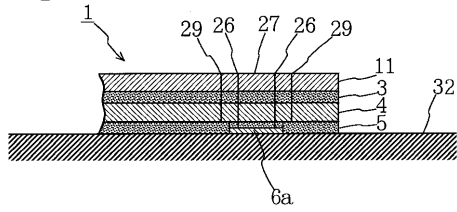
【図 3】



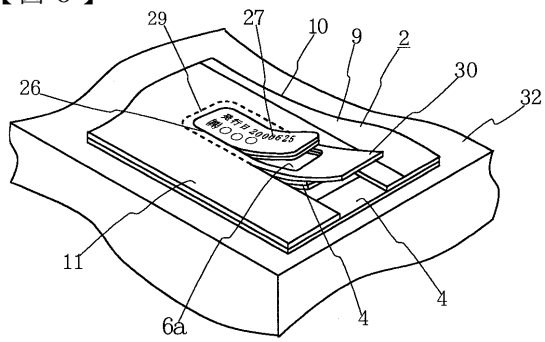
【 図 4 】



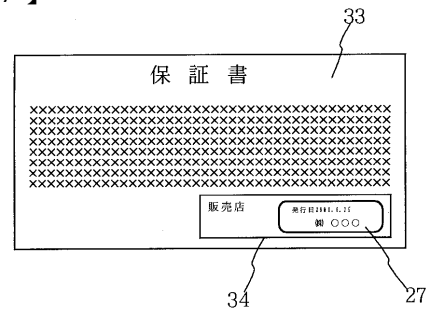
【図 5】



【 図 6 】



【圖 7】



フロントページの続き

- (56)参考文献 実開平06-087974 (JP, U)
特開平07-314946 (JP, A)
特開平08-160865 (JP, A)
実開平06-056852 (JP, U)
特開平11-133862 (JP, A)
実公平05-029895 (JP, Y2)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

B42D 11/00

G09F 3/00